

「神様とのより深い経験」

■はじめに

2019年「10日間の特別祈禱」へようこそ！ 年のはじめに教会が10日間祈ることを始めてから、主は多くの奇跡を行ってこられました。聖霊は、リバイバル、回心、伝道への熱意の回復と、関係における癒しを与えてくださいました。まさしく、祈りはリバイバルが生まれる場なのです！

天の御父が求める者に与えると約束してくださった聖霊の注ぎを求め、兄弟姉妹と心を合わせて祈るとき、祈るあなた自身とあなたが祈っている人の人生は変えられるとわたしたちは信じています。

昨年、「10日間の特別祈禱」に参加した方々の証をご紹介します。

ハワード (ジンバブエ)

「わたしは10日間の特別祈禱を通して、計り知れないほど祝福されています。ジンバブエにあるわたしたちの教会では、主がわたしたちの祈りに応えてくださり、教会の中には一致があります。家族がもう一度一致し、教会員は主に仕えることを心から願っています。」

グレニー

(アメリカ：ニューヨーク)
「教会は本当に祝福されています。教会員のほとんどが、またやりたいと願っています。皆、神に近づいたように感じると言い、わたしたちの教会の中心には、強い一致があります。」

デレク (南アフリカ)

「祈りによって病人が癒やされ、仲たがいでいた家族が再び一つになり、愛する人の死に際するときさえも希望があり、そして人々は彼らの人生をもう一度神様にささげました。わたしたちは生ける神様に仕えています！今年、神様がわたしたちのために用意しておられるのかを見るのが待ちきれません。」

■あなたの証しをお送りください

2019年「10日間の特別祈禱」を通して、神様がどのように働かれたかを、ぜひお知らせください！ あなたの経験は他の参加者にとっての励ましとなります。

証しは、下記のメールアドレス、またはFAXにてお送りください。

pm@adventist.jp (教団信徒伝道部代表)
無料FAX:0120-630-058

わたしたちの祈りのテーマ ：神様とのより深い体験

わたしたちは、2019年「10日間の特別祈禱」を通して、どのようにすればより深く、豊かなクリスチャンの体験をすることができるかに目を向けます。

新しく信徒になった人も、長く信徒である人もみな、日々、キリストとの新鮮で継続的な出会いが必要です。この10日間、実際の生活における教訓、聖書の約束、そして日ごとキリストと共にあゆむ歩みを強めてくれる励ましに満ちたあかしの書からの引用をご紹介します。初代教会について次のようなことを読むことができます。

「コリントの信者たちは、神の事柄に関して、より深い経験が必要であった。彼らは、神の栄光を見つめて、品性が徐々に変えられていくということが、どんなことなのか十分に知らなかった。彼らは、その栄光のきざしをかいまみに過ぎなかった。パウロが彼らに願ったことは、彼らが、神に満ちているもののすべてをもって満たされ、あしたの光のように現れる神を知り、ますます神のことを学んで、完全な福音信仰の真昼の輝きに到達することであった。」

(『明日への希望』1472ページ)

この祈りの目的がわたしたちを「あしたの光のように現れる神を知り、ますます神のことを学んで、完全な福音信仰の真昼の輝きに到達する」まで深く成長させ、イエスとの関係にとどまる助けとなるように祈っています。

■祈りの時間のガイドライン (指針)

- ◎簡潔な言葉で祈りましょう：一つの課題について簡潔な文章で祈りましょう。そして他の人に機会を譲りましょう。会話と同じように、祈りたいだけ何度祈っても良いのです。
- ◎沈黙のときがあっても構いません。聖霊の声に耳を傾ける機会となります。
- ◎聖霊の導かれるままに賛美歌を歌うことも、大きな祝福となります。この場合、ピアノ伴奏は必要ありません。アカペラで歌いましょう。
- ◎祈りの課題を挙げるために大切な祈りの時間を費やしてしまうより、むしろ、それらの課題について祈りましょう。あなたが祈ったのと同じことについて、さらに他の人が祈って

も良いですし、あなたの必要について約束を求めて祈ってもらうこともできます。

■約束を求める

神はみ言葉を通してたくさんの約束をお与えになりました。それらの約束に基づいて祈ることは、わたしたちの特権です。主のご命令と勧告は、すべて約束です。主は、ご自身の力によってわたしたちが成し得ないことをするように求められることは決してありません。

わたしたちが祈るとき、自らの必要、困難、課題ばかりに目を向け、自分が直面している状況について嘆き訴えることは非常にたやすいことです。しかしこれは、祈りの目的ではありません。祈りは、わたしたちの信仰を強めるものです。神の約束に基づいて祈ることをおすすめする理由はここにあります。

神の約束は、自分自身の弱さではなくキリストに目を向けるための助けとなります。主のみ姿に変えられるのは、主を見上げることによるのです。

「神の御言葉の中にある約束は、すべてわたしたちのためのものです。信仰によって願い求めるならば、あらゆる霊的な祝福を受け取るという神の御言葉は確かな約束です。求め続けるなら、あなたが求めるよりはるかに、あり余るほど豊かに受けることができます。」

(“In Heavenly Places” p.71)

約束に基づいて祈るためには、どうすれば良いでしょうか。

例えば、平和について祈り求めるとき、ヨハネによる福音書 14章 27節を用いて祈ることができます。

「主よ、あなたはこうおっしゃいました。『わたしは、平和をあなたがたに残し、わたしの平和を与える。わたしはこれを、世が与えるように与えるのではない。心を騒がせるな。おびえるな』。あなたが約束された平和を与えてください。」

その場ですぐに与えられたと感じなくても、主が平和を与えてくださることを感謝しましょう。

■断食（何かを断つ）

10 日間の特別祈禱において、ダニエルの断食をするようにおすすめします。祈りと断食とによって 1 年を始めることは、わたしたちの 1 年の歩みを神におささげする上で非常に有益な方法です。

エレン・ホワイトはこう言っています。

「神の民は今も、又今から最後の時まで、いよいよ熱心さを増し、明らかに目をさまして自分の知恵に頼らず彼らの指導者である神の知恵に頼って行かなければならない。彼らは断食と祈禱のために幾日かを聖別すべきである。完全に食物を断つことは要求されないかも知れないが最も単純な食物を控え目に食すべきである。」

（『食事と食物に関する勧告』正しい食事 81、82 ページ）

わたしたちはダニエルが 10 日のあいだ、果物と野菜だけを食べたことを知っています。同じように、10 日間の特別祈禱において、非常に簡素な食事をするようにおすすめします。砂糖、加工食品、精製食品、清涼飲料水などを摂らないようにすると、さまざまな点で利益があります。まず、簡素な食事をするということは、より短い時間で食事を準備することができ、より多くの時間を主と共に過ごすことができるようになることを意味します。次に、食事をより簡素にするということは、より消化がしやすくなるということと、より頭脳が明晰になるということです。

断食とは単に食事を控えるということだけではありません。テレビ、映画、ゲーム、また、Facebook や YouTubeなどを控えましょう。

例えば Facebook や YouTube など、必ずしもそれ自体が悪ではないものがわたしたちの時間を奪うのです。主と共に過ごす時間を確保することができるように、可能な限りすべてのものを控えましょう。

断食は神様から奇跡を得るための近道ではありません。断食とは、神様がわたしたちのうちに、そしてわたしたちを通して働くことができるように、わたしたち自身を謙虚にすることです。

「何かのために断食し、祈ることは推奨されており、ふさわしいことです。神のみ手のうちにあって、それらは心を清め、受容的な精神状態を作り出します。わたしたちは、わたしたちの魂を神のみ前に謙虚にすることで祈りに対する

答えを得るのです。」

（"Medical Ministry" p.283）

神のみ前にわたしたちをへりくだらせ、心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くして主を求めましょう。祈りと断食を通して主に近づけば、主はわたしたちを近づけてくださいます。

■聖霊

一人の人のために、あるいは特定の状況において、なにをどのように祈るべきかを教えていただけるよう聖霊に求めましょう。

「わたしたちは、キリストの名によって祈るだけではなくて、聖霊に感じて祈らなければならない。『御霊みずから、言葉にあらわせない切なるうめきをもって、わたしたちのためにとりなして下さるからである』と言われているのは、そのことを説明している。このような祈りを神は喜んで聞いてくださるのである（ローマ 8：26）。熱心に力をこめて、キリストの名によって祈るならば、そのような熱心さをもって祈ること自体が、『求めまた思うところのいっさいを、はるかに越えて』、神がわたしたちの祈りに答えようとしておられることの神の保証なのである（エペソ 3：20）。」

（『キリストの実物教訓』126 ページ）

■信仰

あかしの書は、このように語っています。

「祈りと信仰はこの世のどんな力もできないことをする。」（『ミニストリー・オブ・ヒーリング』495 ページ）

また、わたしたちは祈り、神が祈りを聞いておられ、応えてくださるといふ信仰を持つように励まされています。

「キリストは「求めなさい。そうすれば、与えられる。」と言いました。この聖句の中で、キリストは私たちがどのように祈るべきか指示を与えておられます。私たちは子供のような単純さをもって天の父のもとへ行くのであり、聖霊の賜物を主に求めるのです。イエスはまた言われます「祈りもとめるものはすべて既に得られたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになる」。あなたは悔い改め、あなたの罪を告白し、罪と汚れの魂を虚しくして父のもとに行くのです。そして主の約束を証明することがあなたの特権なのです……。私たちは神の言葉を信じるはず

です。なぜなら、品性の試金石はあなたがあなた自身を最も聖なる信仰のうちに造り上げているという事実の中に見出されるからです。あなたは神の言葉を通して、神のものだと証明されます。神が聞いてくださっていると信じる前に、素晴らしい感情がやってくるのを待つものではありません。感情は雲のように変わりやすいものですから、感覚はあなたの基準にはなりません……地にある間、わたしたちは天からの助けを得ることができます……わたしは幾度となく神に確かめて来ました。わたしは信仰によって歩み通し、不信仰によってわたしの救い主を辱めるようなことはしません。」

(『レビュー・アンド・ヘラルド』1892年10月11日)。

また、次のようにも言われています。

「神の約束されたどんな賜物でも求めることが可能である。つぎに、われわれは与えられることを信じ、そして与えられたことを神に感謝しなければならない。」(『教育』305ページ)

ですから、主が祈りに応え、働いてくださることを信じて、まず感謝をささげる者へと変えていただきます。

■7人の執り成しの祈り

10日間の特別祈禱を通して、「より豊かな人生」を経験してほしいと思う7人のために特別にお祈りすることをおすすめします。

親戚、友人、同僚、近隣の人、あるいは知人等、どのような関わりのある方でも良いでしょう。だれのために祈るよう、主があなたに求めておられるか、それを教えていただく時間をとりましょう。この7人に対して真の重荷を感じるができるよう、祈り求めましょう。

その人たちの名前を書き留めて、聖書の中のようによく見る場所に置きましょう。名前を書き留めることには大きな力があるので、神様があなたの祈りへの答えとしてどのように応えてくださったかに驚くことでしょう。

本書59ページの記入用紙をご活用ください。